



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年8月14日

上場会社名 株式会社ジーエヌアイグループ

上場取引所 東

コード番号 2160 URL <https://www.gnipharma.com>

代表者（役職名）取締役代表執行役社長兼CEO（氏名）イン・ルオ

問合せ先責任者（役職名）取締役執行役CFO

（氏名）北川 智哉

（TEL） 03-6214-3600

半期報告書提出予定日 2024年8月14日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	11,733	△16.8	1,762	△67.8	831	△83.8	△73	—	330	△80.1	3,278	△33.3
2023年12月期中間期	14,096	72.9	5,476	445.1	5,117	547.5	4,014	—	1,658	145.2	4,916	110.6

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	6.61	6.37
2023年12月期中間期	34.93	34.81

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期中間期	68,993	39,564	36,834	53.4	735.86
2023年12月期	62,394	36,052	33,794	54.2	678.01

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	—	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当 り当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,566	52.1	16,286	24.2	15,552	23.3	12,287	29.3	7,058	△12.8	141.60

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) ガバナンス・パートナーズASIA投資事業有限責任組合
除外 1社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期中間期	50,070,243株	2023年12月期	49,857,243株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	13,526株	2023年12月期	13,526株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2024年12月期中間期	49,924,587株	2023年12月期中間期	47,486,448株

※ レビュー手続の実施状況に関する表示

第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1-(4) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、当社は、2024年8月22日に、機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。その説明会資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 研究開発活動	4
(4) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	5
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約中間連結財政状態計算書	6
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書	7
要約中間連結損益計算書	7
要約中間連結包括利益計算書	8
(3) 要約中間連結持分変動計算書	9
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(作成の基礎)	12
(セグメント情報)	12
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

当中間連結会計期間における世界経済は、ウクライナや中東における地政学的リスクの長期化や、世界的な物価上昇等を背景に、世界経済は依然として先行き不透明な状況が続いております。我が国においては、円安による外国人観光客の増加もあり、景気は緩やかな回復傾向がみられました。一方で、日本でも輸入品の価格上昇に伴い、ライフラインや生活必需品等の価格が上昇し、民間部門の生活が苦しくなる等影響が出ており、将来的な懸念がくすぶっております。当社が属するバイオテクノロジーセクターにつきましては、米国金利の上昇が一服したことから買い戻しを含め、一部資金が戻ってきておりますが、日本国内における金利上昇は続いており、楽観視できない状況が続いております。

このような状況下におきまして、株式会社ジーエヌアイグループ (以下「当社」) 及びその関係会社 (以下合わせて「当社グループ」) は、主力製品の販売が堅調に推移し、前期に獲得した契約一時金を除く中間連結累計期間の売上収益ベースで過去最高を記録しております。

製薬、創薬事業におきまして、まず、当社グループの主要子会社である北京コンチネント薬業有限公司 (以下「北京コンチネント」) のアイスーリュイの販売が引き続き堅調に推移し、売上収益及び利益の増加に大きく寄与しました。同社は次期製品の有力な候補であるB型肝炎起因の肝線維症を適応としたF351の第3相臨床試験を中国にて実施しており、2024年末までに、臨床試験のトップラインデータの公表ができるよう鋭意進めております。また、2025年にはNASH (非アルコール性脂肪肝炎) 起因の肝線維症適応に向け、第3相臨床試験を中国で開始、米国ナスダック市場に上場する当社子会社のGyre Therapeutics, Inc. (以下「GYRE」) が、第2a相臨床試験を2025年初めに米国で開始する予定です。

また、肺線維症分野における強固な地位を獲得するため、アイスーリュイの競合薬であり、IPF以外の肺線維症を適応症に持つニンテダニブのジェネリック製品販売に関する権利を取得いたしました。

更に希少疾患のジェネリックで、中国にて開発を進めていた慢性肝疾患による血小板減少症の治療薬であるアバトロンボパグマレイン酸塩錠の販売承認を受けたため、今後の売上収益増大が期待されています。今後も、オープンドラッグ (希少疾病用医薬品) を中心とした販売ラインナップの拡充に努めてまいります。

米国及び中国を中心に革新的な新薬の研究開発を行っている米国子会社Cullgen Inc. (以下「Cullgen」) は、独自の標的タンパク質分解誘導技術プラットフォームuSMITE™ (ubiquitin-mediated, small molecule induced target elimination) を活用した創薬に引き続き邁進しております。Cullgenはアステラス製薬株式会社 (以下「アステラス製薬」) と革新的なタンパク質分解誘導剤創出に向けた共同研究及びオプション契約を締結しており、本戦略的提携におけるアステラス製薬との共同研究は、順調に進展しております。

また、Cullgenは、同社初のTRK分解剤の抗がん剤候補としての臨床試験を中国にて進め、第1/2相臨床試験を開始しております。同時に2024年7月18日に開示しましたとおり、中国及び米国で開発を進めている悪性血液腫瘍 (白血病) 治療薬であるCG009301 (開発番号) のIND (新薬臨床試験開始申請) を提出いたしました。他の複数のプログラムについても、臨床試験開始を目指して研究開発を進めております。

また、2024年7月22日に開示しましたとおり、Cullgenはオーストラリアに子会社を設立し、急性痛を適応症としたTRK分解剤の臨床試験を開始すべく、準備を進めております。

医療機器事業に関しまして、米国でメドテック (生体材料) 事業に携わるBerkeley Advanced Biomaterials LLC (以下「BAB」) にBerkeley Biologics LLC を加え、売上収益及び利益は好調に推移しております。

①セグメント別の経営成績

医薬品事業

北京コンチネントの主力製品であるアイスーリュイの中国市場での売上収益は堅調に推移しました。また、Cullgenにおいて、アステラス製薬との標的タンパク質分解誘導剤の共同開発収益754,349千円を計上し、医薬品事業セグメント全体として、順調に収益の拡大を達成いたしました。その結果、当中間連結会計期間の医薬品事業セグメントの売上収益とセグメント利益は、それぞれ9,145,014千円 (前年同期比28.4%減)、1,086,200千円 (前年同期比78.1%減) となりました。しかし、前中間連結会計期間においては、アステラス製薬との戦略的提携に伴う契約一時金による売上収益4,725,000千円があったため、当該一時金を除いたベースでは、前年同期比は売上収益13.7%増、セグメント利益353.7%増となりました。

医療機器事業

医療機器事業セグメントの売上収益とセグメント利益は、BABの主力製品である骨移植関連製品の売上収益が引き続き好調に推移したことにより、それぞれ2,588,807千円 (前年同期比94.9%増)、675,942千円 (前年同期比32.0%増) となりました。

②販売費及び一般管理費並びに研究開発費

(単位：千円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	差額
販売費及び一般管理費	△6,179,184	△7,117,436	△938,251
人件費	△1,964,780	△2,717,379	△752,598
研究開発費	△1,253,059	△1,419,327	△166,268

当中間連結会計期間の販売費及び一般管理費は、7,117,436千円（前年同期比15.2%増）となりました。この販売費及び一般管理費の増加は、主に前年度期末において取得した子会社を、連結範囲に含めたことによるものです。

当中間連結会計期間の研究開発費は、1,419,327千円（前年同期比13.3%増）となりました。この研究開発費の増加は、主にCullgenにおける臨床試験前と臨床試験の進展によるものです。

③金融収益及び金融費用

(単位：千円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	差額
金融収益	306,524	371,879	65,355
金融費用	△539,038	△1,343,366	△804,328

金融収益

当中間連結会計期間の金融収益は、371,879千円（前年同期比21.3%増）となりました。この金融収益の増加は、主に北京コンチネントの長期性預金及びCullgenの普通預金等の受取利息の増加によるものです。

金融費用

当中間連結会計期間の金融費用は、1,343,366千円（前年同期比149.2%増）となりました。この金融費用の増加は、主に為替差損の増加及びCullgenの資金調達に関する現金支出を伴わない利息費用の増加によるものです。

(2) 財政状態に関する分析

連結財政状態

(単位：千円)

	前連結会計年度	当中間連結会計期間	差額
資産合計	62,394,370	68,993,563	6,599,193
負債合計	26,341,592	29,429,265	3,087,673
資本合計	36,052,778	39,564,297	3,511,519

資産合計

当中間連結会計期間末における資産合計は、68,993,563千円（前連結会計年度末比10.6%増）となりました。この資産の増加は、主にその他の金融資産（流動）3,362,637千円の増加と円安に伴う外貨建てのれん評価額の増加2,477,513千円等によるものです。

負債合計

当中間連結会計期間末における負債合計は、29,429,265千円（前連結会計年度末比11.7%増）となりました。この負債の増加は、主に短期借入金2,368,000千円の増加等によるものです。

資本合計

当中間連結会計期間末における資本合計は、39,564,297千円（前連結会計年度末比9.7%増）となりました。この資本の増加は、主にその他の資本の構成要素の増加によるものです。

連結キャッシュ・フロー

(単位：千円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	872,378	△1,467,673	△2,340,052
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,585,288	△5,522,132	△2,936,843
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,942,881	△185,598	△4,128,479

営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、1,467,673千円の支出（前中間連結会計期間は、872,378千円の収入）となりました。これは主に、法人所得税の支払1,655,085千円等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、5,522,132千円の支出（前中間連結会計期間は、2,585,288千円の支出）となりました。これは主に、差入保証金・敷金の増加による支出2,714,945千円及び投資有価証券の取得による支出1,025,672千円等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、185,598千円の支出（前中間連結会計期間は、3,942,881千円の収入）となりました。これは主に、短期借入金2,368,000千円の増加、非支配持分からの払込による収入628,389千円と非支配持分からの子会社持分取得による支出3,269,100千円等によるものです。

(3) 研究開発活動

〔研究活動〕

当社グループの創薬研究では、Cullgenを中心に革新的な新規開発候補化合物（NCE）の開発を目指しております。Cullgenは、がん、疼痛、及び自己免疫疾患に対する酵素及び非酵素タンパク質を標的とした複数の新規化合物を含む創薬パイプラインの拡充のための研究開発を進めております。

2023年6月に、Cullgenはアステラス製薬と、革新的なタンパク質分解誘導剤創出に向けた共同研究及びオプション契約を締結いたしました。本戦略的提携において、両社は新規E3リガンドを活用したCullgen独自の技術プラットフォームuSMITE™とアステラス製薬の創薬及び商業化能力を融合し、複数の標的タンパク質分解誘導剤の創出を目指します。Cullgenとアステラス製薬は臨床開発対象の化合物を見出すための共同研究を行い、アステラス製薬は見出された分解剤の開発及び商業化を担います。乳がんやその他の固形がんを対象として、アステラス製薬が同定したリードプログラムである細胞周期タンパク質に対する分解誘導剤候補化合物も含むアステラス製薬との共同研究は、順調に進展しております。

〔開発活動〕

■アイスーリュイ〔中国語：艾思瑞®、英語：ETUARY®（一般名：ピルフェニドン）〕－北京コンチネント

北京コンチネントは、アイスーリュイの適応を以下の疾患に拡大する臨床試験を遂行しておりますが、F351の臨床試験を優先しております。

- ・糖尿病腎症（DKD）：第1相完了、今後の進め方を中国当局と継続協議中
- ・結合組織疾患（CTD-ILD）を伴う間質性肺疾患（全身性硬化症（強皮症、SSc-ILD）と皮膚筋炎（DM-ILD））：第3相臨床試験継続中
- ・じん肺治療薬（Pneumoconiosis, PD）：第3相臨床試験継続中

■ニンテダニブ〔英語：Nintedanib〕－北京コンチネント

ニンテダニブはIPF、全身性硬化症関連間質性肺疾患（SSc-ILD）及び進行性線維性間質性肺疾患（PF-ILD）を適応症に持つ治療薬です。2024年5月に、北京コンチネントが製造販売の権利を獲得いたしました。

■F351 (一般名: ヒドロニドン) - 北京コンチネント及びGYRE

F351は肝線維症向け治療薬候補として、当社グループの医薬品ポートフォリオにおける重要な新薬候補であり、世界の主要医薬品市場への参入に向けた戦略の非常に重要なものとなります。F351は、ブロックバスターと期待される新薬候補です。

F351は、B型慢性肝炎に起因する肝線維症の第3相臨床試験を順調に進めております。北京コンチネントは2023年10月、中国におけるB型慢性肝炎に起因する肝線維症患者を対象とした第3相臨床試験の登録を完了し、2024年末までにトップラインデータの公表ができるよう鋭意進めております。

GYREは、2025年にF351を非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) に伴う肝線維症の第2a相臨床試験を開始する予定です。

■F573 (急性肝不全 (ALF) ・慢性肝不全の急性増悪 (ACLF) 治療薬) - 北京コンチネント

急性肝不全 (ALF) や慢性肝不全の急性増悪 (ACLF) の治療薬として、F573の第2相臨床試験を実施しております。

■F230 (肺動脈性肺高血圧症治療薬) - 北京コンチネント

F230は、肺動脈性肺高血圧症の治療薬であり、2024年5月28日に、北京コンチネントは中国においてINDの承認を受けました。第1相臨床試験の早期開始に向け、準備を進めております。

■F528 (慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 治療薬) - 北京コンチネント

F528は、複数の炎症性サイトカインを抑制する新規の抗炎症剤であり、慢性閉塞性肺疾患 (COPD) の進行を軽減する可能性のある新薬候補として研究開発を進めております。

■CG001419 (TRK分解剤) - Cullgen

CG001419は、業界初の選択的かつ強力な標的タンパク質分解誘導剤を活用した経口剤として開発を進めております。2023年7月に、同社初となる第1 / 2相臨床試験を中国にて開始いたしました。

■オーファンドラッグ (希少疾病用医薬品) のジェネリック - 北京コンチネント

北京コンチネントは、オーファンドラッグのパイプライン拡充のため、2024年6月に慢性肝疾患による血小板減少症の治療薬であるアバロンボパグマレイン酸塩錠の販売承認を取得いたしました。また、多発性硬化症の治療薬であるフィンゴリモド塩酸塩錠の販売権取得を目指しております。

(4) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2024年2月14日に公表いたしました連結業績予想から修正しておりません。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	5,238,673	5,852,597
使用権資産	814,513	1,039,450
のれん	17,261,275	19,738,788
無形資産	3,690,331	4,832,568
持分法で会計処理されている投資	360,821	433,608
繰延税金資産	304,436	238,751
その他の金融資産	3,793,224	5,990,704
その他の非流動資産	23,811	19,223
非流動資産合計	31,487,087	38,145,692
流動資産		
棚卸資産	2,330,622	2,976,150
営業債権及びその他の債権	3,973,476	5,177,582
その他の金融資産	1,577,274	4,939,911
その他の流動資産	1,392,881	1,448,017
現金及び現金同等物	21,633,028	16,306,208
流動資産合計	30,907,282	30,847,870
資産合計	62,394,370	68,993,563
負債及び資本		
非流動負債		
借入金	1,600,000	1,400,000
リース負債	150,276	257,350
繰延税金負債	1,173,159	1,422,003
その他の金融負債	15,139,232	15,353,137
その他の非流動負債	85,146	79,952
非流動負債合計	18,147,815	18,512,444
流動負債		
営業債務及びその他の債務	2,064,776	2,203,039
借入金	1,300,000	3,668,000
1年内返済予定の長期借入金	400,000	400,000
リース負債	249,158	294,648
未払法人所得税	2,187,700	1,218,991
その他の金融負債	49,010	1,099,386
その他の流動負債	1,943,131	2,032,755
流動負債合計	8,193,776	10,916,821
負債合計	26,341,592	29,429,265
資本		
資本金	13,052,056	13,218,954
資本剰余金	7,397,974	6,480,860
自己株式	△15,302	△15,302
利益剰余金	8,790,563	9,120,690
その他の資本の構成要素	4,569,122	8,029,714
親会社の所有者に帰属する持分合計	33,794,414	36,834,916
非支配持分	2,258,363	2,729,380
資本合計	36,052,778	39,564,297
資本及び負債の合計	62,394,370	68,993,563

(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書

要約中間連結損益計算書

中間連結会計期間

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上収益	14,096,545	11,733,821
売上原価	△1,341,214	△2,165,775
売上総利益	12,755,330	9,568,045
販売費及び一般管理費	△6,179,184	△7,117,436
研究開発費	△1,253,059	△1,419,327
その他の収益	286,180	1,909,702
その他の費用	△132,791	△1,178,841
営業利益	5,476,475	1,762,142
金融収益	306,524	371,879
金融費用	△539,038	△1,343,366
持分法による投資利益 (△損失)	△126,000	40,735
税引前中間利益	5,117,961	831,391
法人所得税費用	△1,103,886	△905,241
中間利益 (△損失)	4,014,074	△73,850
中間利益 (△損失) の帰属		
親会社の所有者	1,658,805	330,126
非支配持分	2,355,269	△403,976
1株当たり中間利益		
基本的1株当たり中間利益 (円)	34.93	6.61
希薄化後1株当たり中間利益 (円)	34.81	6.37

要約中間連結包括利益計算書
中間連結会計期間

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間利益 (△損失)	4,014,074	△73,850
その他の包括利益		
純損益にその後に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	897,349	3,312,725
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	4,925	39,829
その他の包括利益合計	902,274	3,352,555
中間包括利益合計	4,916,349	3,278,705
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,759,653	3,887,790
非支配持分	2,156,696	△609,085

(3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

(単位: 千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	合計
2023年1月1日残高	10,893,070	6,233,386	△756	696,360	824,192	2,323,439	3,147,631
中間利益	—	—	—	1,658,805	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	1,100,848	1,100,848
中間包括利益合計	—	—	—	1,658,805	—	1,100,848	1,100,848
支配継続子会社に対する持分 変動	—	△791,179	—	—	—	△32,836	△32,836
新株の発行	3,696	3,696	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	—	85,388	—	85,388
新株予約権の失効	—	—	—	—	△21,725	—	△21,725
自己株式の取得	—	—	△38	—	—	—	—
所有者との取引額合計	3,696	△787,483	△38	—	63,663	△32,836	30,826
2023年6月30日残高	10,896,766	5,445,903	△794	2,355,166	887,855	3,391,450	4,279,306

	親会社の所有者に帰属する持分		
	合計	非支配持分	資本合計
2023年1月1日残高	20,969,692	△1,158,724	19,810,968
中間利益	1,658,805	2,355,269	4,014,074
その他の包括利益	1,100,848	△198,573	902,274
中間包括利益合計	2,759,653	2,156,696	4,916,349
支配継続子会社に対する持分 変動	△824,015	824,015	—
新株の発行	7,392	—	7,392
株式報酬取引	85,388	—	85,388
新株予約権の失効	△21,725	—	△21,725
自己株式の取得	△38	—	△38
所有者との取引額合計	△752,998	824,015	71,017
2023年6月30日残高	22,976,347	1,821,987	24,798,335

当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

(単位: 千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	合計
2024年1月1日残高	13,052,056	7,397,974	△15,302	8,790,563	1,503,717	3,065,405	4,569,122
中間利益 (△損失)	—	—	—	330,126	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	3,557,663	3,557,663
中間包括利益合計	—	—	—	330,126	—	3,557,663	3,557,663
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対する持分 変動	—	△1,084,011	—	—	—	△55,221	△55,221
新株の発行	166,898	166,898	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	—	36,203	—	36,203
新株予約権の発行	—	—	—	—	326	—	326
新株予約権の行使	—	—	—	—	△74,382	—	△74,382
新株予約権発行費用	—	—	—	—	△3,998	—	△3,998
所有者との取引額合計	166,898	△917,113	—	—	△41,850	△55,221	△97,071
2024年6月30日残高	13,218,954	6,480,860	△15,302	9,120,690	1,461,866	6,567,848	8,029,714

	親会社の所有者に帰属する持分		
	合計	非支配持分	資本合計
2024年1月1日残高	33,794,414	2,258,363	36,052,778
中間利益 (△損失)	330,126	△403,976	△73,850
その他の包括利益	3,557,663	△205,108	3,352,555
中間包括利益合計	3,887,790	△609,085	3,278,705
連結範囲の変動	—	91,244	91,244
支配継続子会社に対する持分 変動	△1,139,232	988,857	△150,375
新株の発行	333,796	—	333,796
株式報酬取引	36,203	—	36,203
新株予約権の発行	326	—	326
新株予約権の行使	△74,382	—	△74,382
新株予約権発行費用	△3,998	—	△3,998
所有者との取引額合計	△847,287	1,080,102	232,814
2024年6月30日残高	36,834,916	2,729,380	39,564,297

(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	5,117,961	831,391
減価償却費	274,252	419,755
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△4,060,271	△657,775
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△332,147	△97,070
棚卸資産の増減額 (△は増加)	109,315	△337,943
賞与引当金増減額 (△は減少)	△26,766	△50,713
金融収益及び金融費用	435,807	330,181
その他	228,858	△412,469
小計	1,747,009	25,356
利息の受取額	52,577	201,543
利息の支払額	△10,965	△39,488
法人所得税の支払額	△916,242	△1,655,085
営業活動による正味キャッシュ・フロー	872,378	△1,467,673
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△1,556,800	△1,253,523
有形固定資産の取得による支出	△601,480	△304,800
無形資産の取得による支出	△425,754	△414,750
投資有価証券の取得による支出	—	△1,025,672
投資有価証券の売却による収入	—	191,560
差入保証金・敷金の増加による支出	△3,625	△2,714,945
貸付金の回収による収入	2,371	—
投資活動による正味キャッシュ・フロー	△2,585,288	△5,522,132
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金増減額 (△は減少)	800,000	2,368,000
長期借入金の返済による支出	—	△200,000
新株予約権の発行による収入	—	326
非支配持分からの払込による収入	3,239,999	628,389
非支配持分からの子会社持分取得による支出	—	△3,269,100
新株予約権の行使による収入	—	474,660
リース負債の返済による支出	△97,079	△187,874
自己株式の取得による支出	△38	—
財務活動による正味キャッシュ・フロー	3,942,881	△185,598
現金及び現金同等物に係る換算差額	797,472	1,848,584
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,027,443	△5,326,819
現金及び現金同等物の期首残高	11,049,310	21,633,028
現金及び現金同等物の中間期末残高	14,076,753	16,306,208

(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(作成の基礎)

(1) IFRSに準拠している旨の事項

当社グループの要約中間連結財務諸表は、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して作成しております。

当社グループは、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和51年大蔵省令第28号)第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たしていることから、同第312条の規定を適用しております。

本要約中間連結財務諸表には年次の連結財務諸表で要求される全ての情報が含まれていないため、2023年12月31日に終了した連結会計年度の当社グループの連結財務諸表と併せて利用されるべきものです。

(2) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約中間連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、千円未満を切り捨てて表示しております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、創薬及び製造販売事業である医薬品事業及び、医療機器事業を展開しております。医薬品事業では、医薬品の研究開発、製造、販売及び受託研究等を行っており、医療機器事業では、生体材料を含む医療機器の研究開発、製造及び販売を行っております。

各報告セグメントの主要製品は以下のとおりです。

報告セグメント	会社名	主要製品
医薬品事業	株式会社ジーエヌアイグループ、北京コンチネント薬業有限公司、上海ジェノミクス有限公司、GNI Hong Kong Limited、上海ジェノミクステクノロジー有限公司、Cullgen (Shanghai), Inc.、GNI USA, Inc.、Cullgen Inc.、上海リーフ国際貿易有限公司、Gyre Therapeutics, Inc.	アイスーリュイ、医薬品開発、その他医薬品、試薬
医療機器事業	Berkeley Advanced Biomaterials LLC、マイクレン・ヘルスケア株式会社、Berkeley Biologics LLC	生体材料、医療機器選任製造販売業者(DMAH)及び治験国内管理人(ICC)サービス

(2) 報告セグメントの売上収益及び損益

当社グループの報告セグメント情報は以下のとおりです。

前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計		
売上収益					
(1) 外部顧客への売上収益	12,768,126	1,328,418	14,096,545	—	14,096,545
(2) セグメント間の内部売上収益又は振替高	—	23,197	23,197	△23,197	—
計	12,768,126	1,351,615	14,119,742	△23,197	14,096,545
セグメント利益	4,964,402	512,073	5,476,475	—	5,476,475
				金融収益	306,524
				金融費用	△539,038
				持分法による投資損失	△126,000
				税引前中間利益	5,117,961

(注) 1. 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益です。

2. セグメント利益は、要約中間連結損益計算書の営業利益を用いております。

当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計		
売上収益					
(1) 外部顧客への売上収益	9,145,014	2,588,807	11,733,821	—	11,733,821
(2) セグメント間の内部売上収益又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,145,014	2,588,807	11,733,821	—	11,733,821
セグメント利益	1,086,200	675,942	1,762,142	—	1,762,142
				金融収益	371,879
				金融費用	△1,343,366
				持分法による投資利益	40,735
				税引前中間利益	831,391

(注) 1. セグメント間の内部売上収益又は振替額は、独立企業間価格に基づいております。

2. 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益です。

3. セグメント利益は、要約中間連結損益計算書の営業利益を用いております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。